



平成 22 年 4 月 12 日

各 位

会 社 名 セブンシーズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤堂 裕隆
(コード番号 3750 東証第二部)
問合せ先 経営企画部長 関 裕司
(TEL. 03-5225-3612)

特定子会社の異動（株式譲渡）及び特別利益の発生に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 4 月 12 日開催の取締役会において、特定子会社でありますセブンシーズ・テックワークス株式会社（コード番号 2338 東証マザーズ、以下「SSTW」といいます。）の株式を譲渡することについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

これに伴い、平成 23 年 3 月期第 1 四半期において連結、単体ともに特別利益を計上する予定でありますので、併せてお知らせいたします。

1. 株式譲渡の理由

SSTW は、当社グループでは IT 事業として事業展開してきましたが、グループ経営の効率化及び財務基盤の強化を図るため、当社が保有する当該子会社の普通株式 8,000 株を株式会社 A&M コーポレーションに譲渡することといたしました。

株式会社 A&M コーポレーションは、SSTW の連結子会社の株式会社ピーアール・ライフ（以下「PRL」といいます。）と過去に広告代理取引もあり、事業として各種企業への技術支援やコンサルティング等を行っております。SSTW の保有する IT 技術の活用及び PRL の広告代理店業との将来的な事業シナジーを考慮し、今後良好な関係を築いていける相手先であると考えたことから、譲渡先として選定いたしました。

当社グループは過年度に渡り、厳しい景気環境及び株式市場の下落や不安定な為替の影響を受け、損失計上を余儀なくされました。これに対応すべく、前連結会計年度より大規模なコスト削減及び選択と集中を徹底することによる、景気変動に影響されない事業体へのグループ再編を推し進めており、モバイル端末決済事業とデータセンター事業の強化を図ってまいりました。既に平成 22 年 3 月 23 日に実施しておりますインフォレスト株式会社の株式譲渡及び当該 SSTW の株式譲渡はその戦略の一環であります。

これらの対応により、当社グループの最大の課題として認識しておりました有利子負債の減少、自己資本率の上昇等、財務基盤の改善が大幅に実現されることとなりました。

2. 異動する子会社の概要

①セブンシーズ・テックワークス株式会社

(1) 名 称	セブンシーズ・テックワークス株式会社		
(2) 所 在 地	東京都新宿区神楽坂六丁目 77 番		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 川嶋 誠		
(4) 事 業 内 容	ビジネス及び技術コンサルティング、インターネットサービス・ビジネス構築、プロジェクト支援		
(5) 資 本 金	983 百万円		
(6) 設 立 年 月 日	平成 11 年 5 月 27 日		
(7) 大株主及び持株比率	セブンシーズホールディングス株式会社 52.4%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	連結子会社	
	人 的 関 係	役員 3 名の派遣	
	取 引 関 係	経営指導・管理業務	

(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態 (注)			
決算期	平成19年2月期	平成20年2月期	平成21年2月期
連結純資産	2,127百万円	1,784百万円	1,569百万円
連結総資産	2,435百万円	2,470百万円	2,082百万円
1株当たり連結純資産	73,737.97円	62,433.68円	55,000.54円
連結売上高	2,229百万円	1,185百万円	914百万円
連結営業利益	87百万円	△132百万円	△75百万円
連結経常利益	84百万円	△300百万円	△212百万円
連結当期純利益	39百万円	△312百万円	△236百万円
1株当たり連結当期純利益	1,379.52円	△10,937.81円	△8,278.07円

(注) SSTWによるPRLの株式取得が平成21年5月のため、上記連結経営成績及び連結財政状態には含まれておりません。

②株式会社ピーアール・ライフ

(1) 名称	株式会社ピーアール・ライフ		
(2) 所在地	東京都台東区台東一丁目3番5号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 長谷川 清英		
(4) 事業内容	総合広告代理店業		
(5) 資本金	10百万円		
(6) 設立年月日	昭和52年4月1日		
(7) 大株主及び持株比率	セブンシーズ・テックワークス株式会社 51.0% 長谷川 清英 39.0%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	連結子会社	
	人的関係	役員1名の派遣	
	取引関係	経営指導・管理業務	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
純資産	1,001百万円	1,095百万円	1,096百万円
総資産	2,937百万円	2,825百万円	2,986百万円
1株当たり純資産	333,733.76円	365,099.05円	365,377.64円
売上高	5,898百万円	5,933百万円	5,823百万円
営業利益	206百万円	206百万円	99百万円
経常利益	214百万円	228百万円	78百万円
当期純利益	23百万円	125百万円	12百万円
1株当たり当期純利益	7,963.88円	41,838.74円	4,222.60円

3. 株式譲渡の相手先の概要

(1) 名称	株式会社A&M コーポレーション		
(2) 所在地	東京都台東区東上野一丁目20番9号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 白石 学		
(4) 事業内容	各種企業の技術支援、経営指導、市場調査の企画、実施、経営情報の調査・研究等		
(5) 資本金	1,000千円		
(6) 設立年月日	平成18年9月11日		
(7) 純資産	65百万円		
(8) 総資産	149百万円		
(9) 大株主及び持株比率	株式会社A&M 100.0%		
(10) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	

4. 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	15,124 株 (議決権の数：15,124 個) (所有割合：52.4%)
(2) 譲渡株式数	8,000 株 (議決権の数：8,000 個) (譲渡価額：424 百万円)
(3) 異動後の所有株式数	7,124 株 (議決権の数：7,124 個) (所有割合：24.7%)

5. 日程

(1) 取締役会決議	平成 22 年 4 月 12 日
(2) 株式譲渡期日	平成 22 年 4 月 12 日

6. 今後の見通し

当該株式譲渡に伴い、平成 23 年 3 月期第 1 四半期連結決算において、関係会社株式売却益として特別利益約 500 百万円程度を計上する見込みです。また、同個別決算において、関係会社株式売却益として特別利益 260 百万円を計上する見込みです。

なお、平成 23 年 3 月期連結決算において、みなし譲渡日が平成 22 年 4 月 1 日となるため、SSTW 及び PRL は持分法適用関連会社となります。

7. 今後の展開

収益面について、連結売上高は大幅に減少いたしますが、中長期的な視野で事業開発を進めてまいりましたモバイル端末決済事業とデータセンター事業が連結収益に寄与する状況までに達し、将来にわたっての安定的かつ継続的な収益拡大が見込める段階に到達しております。

今後は、既存の事業の拡大に加え、安定した財務体質を基盤に、これまでに培った各種事業のノウハウを活用した新規事業開発も積極的に推進し、さらなる企業価値向上を目指してまいります。

<参考情報>

売上高情報

	平成 21 年 3 月期	平成 22 年 3 月期 (見込)
連結売上高	17,435 百万円	14,100 百万円
インフォレスト株式会社	7,496 百万円	6,800 百万円
セブンシーズ・テックワークス株式会社	479 百万円	300 百万円
株式会社ピーアール・ライフ	5,823 百万円	4,000 百万円

以上